



〈補足資料〉

# 第三者割当による新株式の発行について

2026.1.30

日本精密株式会社

東証STD 7771



## ■ 2019年9月以降の財務体質悪化と金融機関による支援

業績低迷及び有利子負債依存度の高まりを背景として、取引金融機関より借入金元本の返済条件に関する緩和(いわゆるリスケジュール)を受け、財務を運営。

## ■ 収益体質改善により資金総出力は回復基調

事業構造改革、固定費削減、生産性向上施策等を継続的に実施し、収益体質が改善。  
直近事業年度においては、営業利益、経常利益及び営業キャッシュ・フローがいずれも黒字化。

## ■ 金融取引正常化

2025年2月28日付で、主力取引金融機関を含む金融機関団との間でシンジケートローン契約を締結し、長期間継続していたリスケジュール状態を解消し、金融取引が正常化。

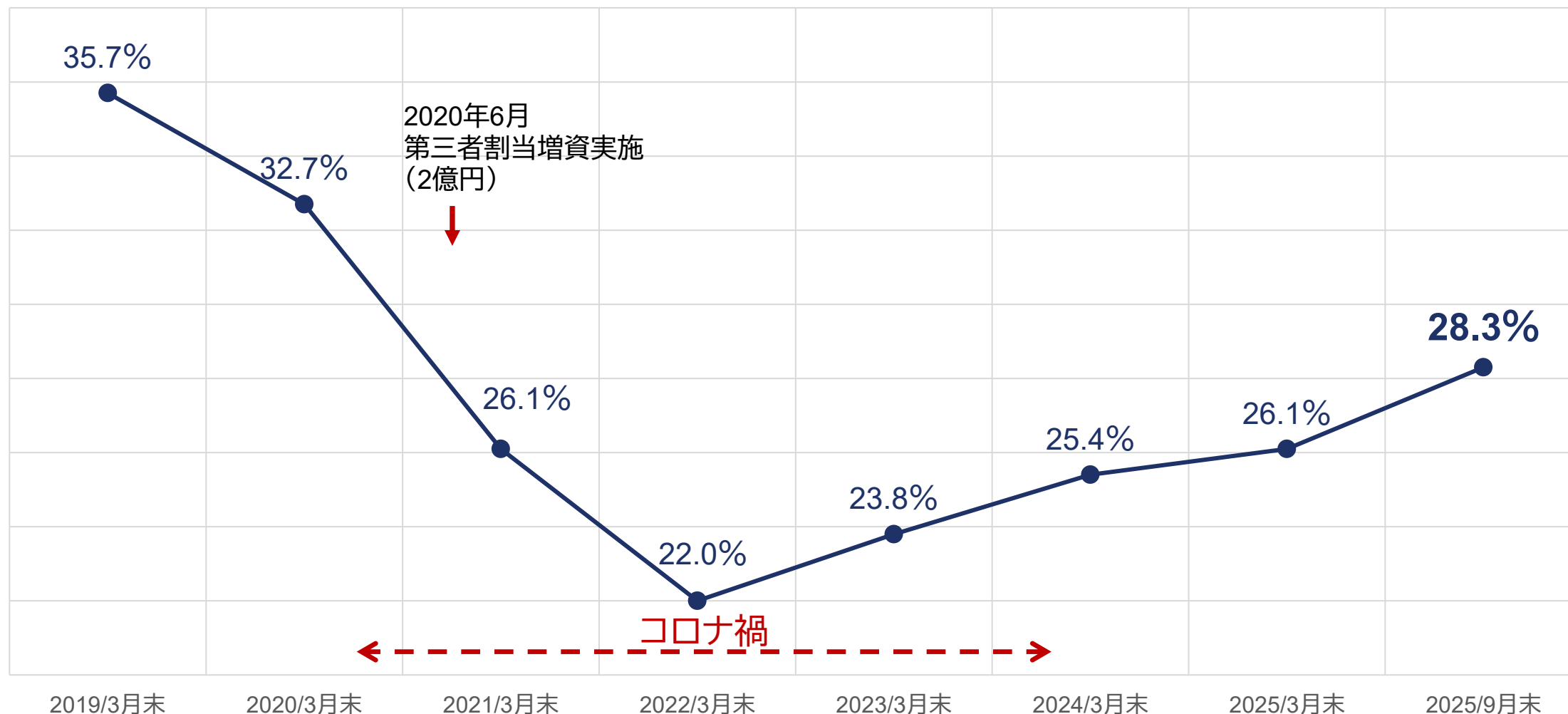
## ■ 脆弱な財務基盤が成長戦略に悪影響

金融取引正常化後も、引き続き有利子負債が残存。2025年3月期末における当社の自己資本比率は26.1%と低水準。  
今後企業価値拡大に向けた成長戦略を展開するうえで機動的な資金調達の実施に障害となる可能性。

## ■ 借入金の返済に充当、自己資本比率を改善

本資金調達は有利子負債の圧縮を目的として、金融機関との協議を前提に借入金に係る支出に充当する予定。  
本第三者割当増資により、自己資本比率は、概ね30%台前半程度までの改善を見込む。

# 自己資本比率推移



※2020年6月の第三者割当増資は、新型コロナウイルス感染症の影響下における事業継続および財務安定化を目的として実施したものです。

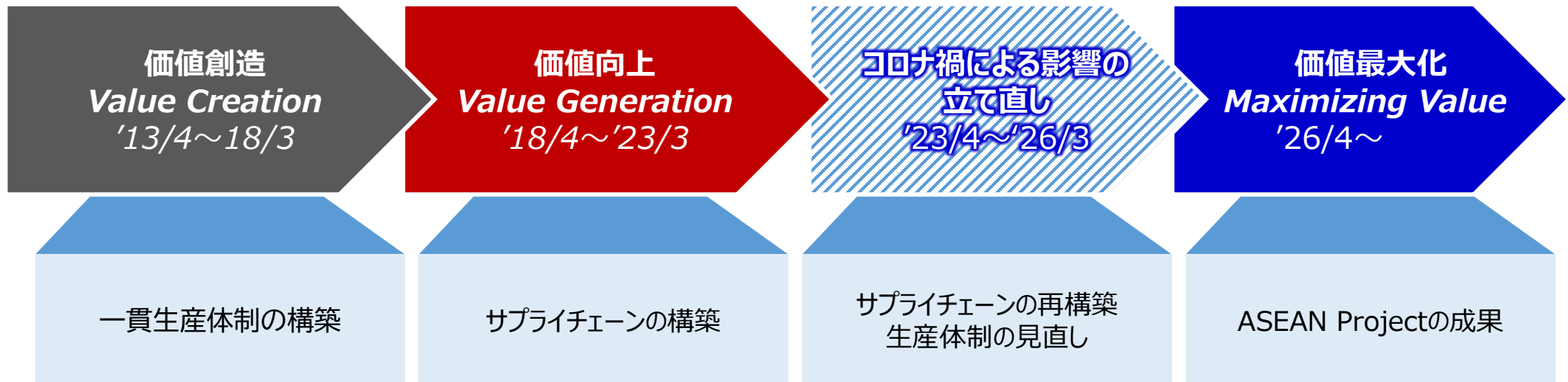
(1)払込期日	2026年3月6日
(2)発行新株式数	1,941,748 株
(3)発行価額	1株につき 103円
(4)調達資金の額	200,000,044円
(5)募集又は割当方法	第三者割当の方法により、1,941,748株を割り当てます。

本第三者割当増資は成長投資を目的とするものではなく、財務基盤の安定化を前提として、将来の成長戦略を支えるための施策です。

発行価額の算定にあたっては、直近における株価変動の影響を平準化し、より安定的かつ客観的な評価とする観点から、直前6か月間の平均株価を基準としております。

今期中に2027年3月期を初年度とする中期経営計画「ASEAN ProjectⅢ」の公表を予定。

「ASEAN ProjectⅢ」においては、より高品質な加工技術の実現に向けて積極的な投資を実行、金属加工における次世代サプライチェーンを構築し、世界の製造業をリードする。



コーポレートスローガン

『手のひらロマンで世界を刻む』

手のひらロマンで世界を刻む

キャッチフレーズ

『肌に優しい金属加工技術』

肌に優しい金属加工技術

# Beyond China



## 日本精密株式会社 手のひらロマンで世界を刻む

本資料は、第三者割当増資の概要を説明することを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は注記のない限り2026年1月30日現在の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。なお、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。